

# 卓 話 集

平成 20 年 2 月 6 日

担当：国際奉仕委員会 塚原進 副委員長

## クラブフォーラム（ 8 ）



### 1 . 来日交換留学生ダニエル・ヴァレラ君の紹介。

#### 留学生プロフィール

姓名：VARELA・DANIEL 1990年9月30日生まれ（17歳）

国籍：コロンビア生まれのオーストラリア国籍 母国語：スペイン語・英語

出身地：オーストラリア・クイーンズランド州ゴールドコースト市内

スポンサークラブ：国際RC9640地区・MULLUMBIMBY・RC

通学高校：マリーアウントカレッジ（ハイスクール）

### 2 . 岐阜北RCの国際奉仕部門の現況と問題点

#### 国際奉仕部門

#### 国際奉仕委員会について

#### 青少年交換委員会について

### 3 . 会員減少にともなう委員会構成の見直しについて

#### リニューアル・塚原私案（たたき台）

国際奉仕の中に青少年交換を併合して以前の国際奉仕委員会に戻す。

（委員長と副委員長が役割分担して地区協議会などの分科会等に出席する。）

R財団と米山奨学を一つにまとめてR財団・米山奨学委員会にする。

（委員長と副委員長が役割分担して地区協議会などの分科会等に出席する。）

国際奉仕部門の委員会を併合・合併させて上記の2委員会にすることにより現在の正副委員長8名を半分の4名に減らす事が可能です。

僭越ですが、この機械に年次計画書の他部門も幅広く横断的な目で見直してみると、クラブ奉仕部門のプログラムと出席を合併してプログラム・出席委員会にするとか社会奉仕部門の社会奉仕委員会の中に環境保全を併合するなどの方法があります。

上記のクラブ奉仕と社会奉仕の両部門を合わせて正副委員長が4名減となります。

国際奉仕も合わせると全体で8名減となり、会員数の実情に合ったスリムな委員会構成が可能となり、今後の人員配置とクラブ運営に役立つと思われます。

別紙の収支決算・シュミレーションを参照いただくと、このままではギリ貧状態が続き数年で赤字予算に転落します。ここで思い切った見直しと改革が必要です。